

報道発表資料の配付日時 3月8日(金) 15時00分

発表項目 (行事名)	第6回北海道自動車安全技術検討会議の開催について
概要	<p>○本検討会議は、本道のポテンシャルを活かして、交通安全や高齢者の移動支援といった社会課題の解決に貢献するとともに、研究開発面から本道への自動車産業の一層の集積を促進するため、<u>産学官の連携のもと、自動走行に関し、企業等が行う実証試験の円滑化や研究開発の促進などに資する環境整備や情報提供を行うことを目的に、平成28年6月に設置。</u></p> <p>○第6回会議※では、これまでのワンストップ相談窓口の活用状況や関連企業等による実証の取組についての説明、道内研究機関による自動走行実証のための研究報告や意見交換を行うこととしています。</p> <p>※過去の開催状況 第1回：H28.6.9、第2回：H29.2.28、 第3回：H29.9.8、第4回：H30.3.23、 第5回：H30.8.27</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日時 平成31年3月15日(金) 14:00～15:50 2. 場所 TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 5階 はまなす (札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館) 3. 議事 1) 事務局からの活動状況報告 2) 各機関からの情報提供 (日本自動車研究所、北海道大学、寒地土木研究所) 3) 歌志内市における自動走行実証試験適地のご紹介(歌志内市) 4) 自動運転試験研究に向けた取組について((株)ラック) 4. 参集範囲 <ul style="list-style-type: none"> ・参画機関(北海道警察、北海道開発局、北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道総合通信局、NEXCO東日本、大学・高専、研究機関、関係市町村、道等)、道内にテストコースを立地する企業、自動走行に関心のある道内外企業 等
参考	・検討会議の概要は、別紙のとおり。
報道(取材)に当たってのお願い	・事務局よりワンストップ窓口の情報提供強化の取組として、非公道実証試験適地情報データベースの概要についても説明いたしますので、当日の積極的な取材をお願いします。
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク
担当(連絡先)	経済部産業振興局産業振興課(担当者:新津、上野) TEL ダイヤルイン 011-204-5336、内線 26-813

北海道自動車安全技術検討会議の概要について

1 目的

- 本道のポテンシャルを活かして、交通安全や高齢者の移動支援といった社会課題の解決に貢献するとともに、研究開発面から本道への自動車産業の一層の集積を促進するため、産学官の連携のもと、自動走行に関し、企業等が行う実証試験の円滑化や研究開発の促進などに資する環境整備や情報提供を行う。

【本道のポテンシャル】

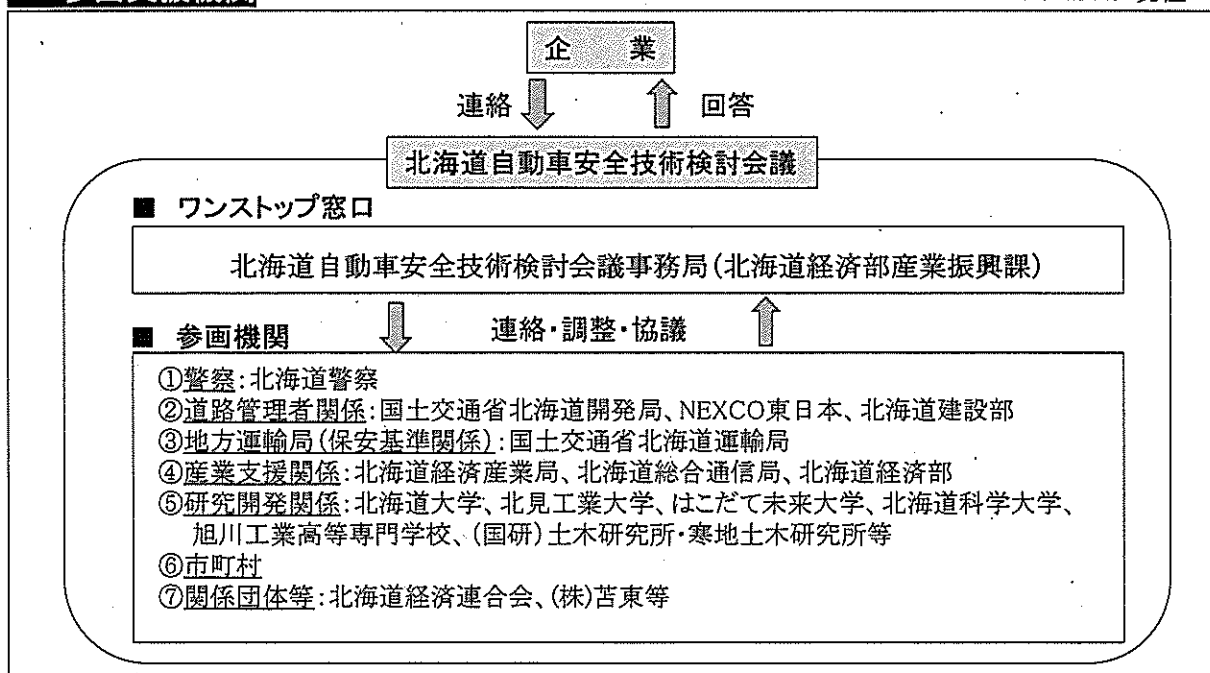
- ・全国最多、28のテストコースが集積。
- ・広大な土地や寒冷な気候を活かし、多様な実証試験モードの提供が可能。
- ・理系大学をはじめとした研究機関やIT企業などが集積。
- ・自動走行を取り巻く社会課題に関する多くの実証テーマが存在
→交通事故抑止、移動手段の確保（高齢者・観光客等）、冬道対策など

2 取組内容

- 1) 自動走行の実証試験に関するワンストップ相談窓口の設定。
 - ①警察庁「自動走行システムに関する公道実証実験のためのガイドライン」に基づく関係機関の事前連絡の円滑化。
 - ②企業の開発ニーズに応じた公道実証試験の適地選定の参考となる道路の情報提供。
 - ③自動走行などの自動車安全技術に関する大学等や道内企業の研究・技術シーズ等の紹介・マッチング。
 - ④テストコースや研究開発施設の新增設に関する各種支援制度や、関係法令に関する諸手続などの紹介・相談。
 - ⑤その他道内での自動走行に関する研究開発や公道試験などの相談。
 - ⑥道内での社会実証事業の実施を希望する自動車関連企業等と、地域での実施を希望する市町村等の紹介・マッチング。
- 2) 各社が共用可能な実証試験場及び公道モデルコースの必要性の検討。
- 3) その他（検討会議での議論などを踏まえ、適宜テーマを追加）

3 参画支援機関

※ H31.3 現在



第6回北海道自動車安全技術検討会議 次第

日時：平成31年3月15日（金）14:00～15:50

場所：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前

1 開 会

2 挨拶 北海道経済部長 倉本 博史

3 議 事

(1) 事務局からの活動状況報告

(2) 各機関からの情報提供

- ・自動バレーパーキングシステム実用化に向けた取り組みについて

(一財)日本自動車研究所 ITS 研究部 部長 谷川 浩 氏

- ・戦略的基盤技術高度化支援事業：積雪環境における自動運転技術の開発

国立大学法人北海道大学 大学院工学研究院 准教授 江丸 貴紀 氏

- ・自動運転技術と道路インフラについて

- ・暴風雪による視程障害時の除雪車運行支援技術に関する研究

国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所

寒地道路研究グループ寒地交通チーム 主任研究員 宗広 一徳 氏

技術開発調整監付寒地機械技術チーム 主任研究員 山口 洋士 氏

(3) 歌志内市における自動走行実証試験適地のご紹介

歌志内市 産業課 主幹 山岸 康治 氏

(4) 自動運転試験研究に向けた取組について

(株)ラック 執行役員 新規事業開発部長 又江原 恭彦 氏

(5) その他

4 閉 会